

議会だより



第195号
2025.4

～ 一宮小学校卒業式 ～
卒業おめでとう！

町のホームページで議会だより
や議会の録画中継、会議録等
を見ることができます。

<https://www.town.ichinomiya.chiba.jp>



P2～5

• 令和7年度予算を可決

P6・7

• 議決審議結果一覧

P8

• 定例会で決まったこと

P9～15

• 一般質問

一宮海水浴場駐車場舗装整備事業 4,840万円
 利用者の利便性向上や観光地の魅力向上を図るため、一宮海水浴場駐車場を舗装し整備する。



防災行政無線屋外子局電源増設事業 2,043万6千円
 屋外子局にソーラー式パネルを設置し、災害時に長期の停電が発生した場合でも対応できるようにする。



急傾斜地崩落対策事業 1億5,000万円
 GSSセンターが土砂災害特別警戒区域にあるため、裏山斜面の工事を実施し、安全を確保する。



空き家等対策計画策定委託料 756万8千円
 町の空き家対策に向けて、空き家等対策計画を策定する。

産地パワーアップ事業 1,963万9千円
 産地パワーアップ計画に基づき、農業者等に対し、機器導入や施設整備等の費用を助成する。



令和7年度 新規事業をチェック

福祉タクシー利用助成金 502万8千円
 新たに80歳以上で自動車運転免許証がない方も対象とし、福祉タクシーの利用料を助成する。

第2子以降学校給食費無償化事業 (小中学校) 1,699万7千円
 多子世帯における経済的負担の軽減を図ることを目的とし、令和5年度から第3子以降学校給食費無償化を実施している。これを第2子以降に拡充する。



東浪見小学校 屋内運動場周辺舗装整備事業 418万円
 屋内運動場周辺は砂利敷きで、雨天時には水がたまり歩きづらい状況であるため、舗装工事を行う。

GIGAスクール構想第2期事業 (小中学校) 1億852万円
 導入から5年が経過するタブレット端末の購入や機器設定等の環境整備を行う。

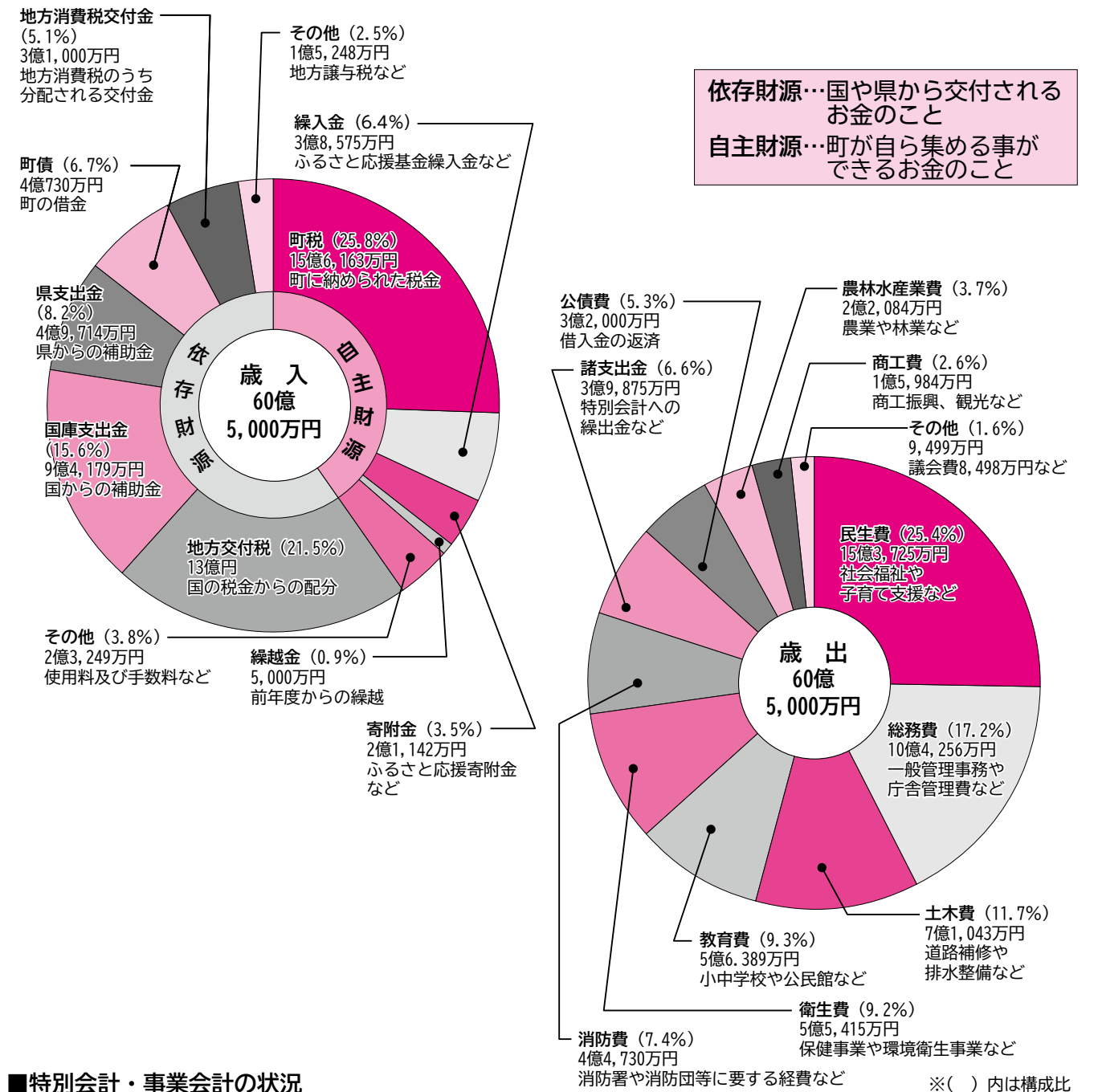


収蔵品管理システム導入委託事業 89万6千円
 町が所蔵する歴史資料は約1万点ある。管理システムを導入し、資料の適正管理やデジタルミュージアムとしての公開、文化財の普及啓発をする。



60億5,000万円の予算を可決 (一般会計)

一般会計の総額は60億5,000万円で、令和6年度に比べて9億4,400万円(18.5%)の増加となりました。新年度予算については、各常任委員会で審査を行い、本会議で委員長報告の後、討論・採決の上、各会計とも可決されました。



■特別会計・事業会計の状況

会計名	予算額	増減率(%)
国民健康保険事業特別会計	13億6,040万円	▲8
介護保険特別会計	11億528万円	0.9
後期高齢者医療特別会計	2億1,722万円	2.1
農業集落排水事業会計	7億6,324万円	103.1

予算討論



常任委員会での予算を審議

各委員会での質疑・回答の一部をお伝えします。

総務経済

委員長	川城 茂樹
副委員長	吉野 繁徳
委員	森 佐衛
委員	小安 博之
委員	鶴沢 清永
委員	宇佐美 信幸
委員	篠瀬 寛樹

一般会計

問 無料駐輪場整備工事とは。
答 現在の町無料駐輪場の入口側に、1区画増設する工事を予定している。

問 両総土地改良区管理委員会松潟支部と茂原支部補助金について、どのような工事を実施するのか。
答 松潟支部では、宮原踏切地先の松潟用水路パイプライン化工事を実施する。茂原支部では、宮原の町道1045号線沿いの用排水路法面補修工事を実施する。

問 森林環境整備委託の事業内容は、市川市と協定を締結し、憩いの森等の森林整備を行ってきた。令和7年度は木材加工と小学生を対象とした交流イベントを予定している。
答 委員会からの要望事項

1. 町の情報発信について、ホームページやSNSの運用方法に改善の余地がある。先進事例を参考にし、新たなツールの活用を含め、広報力の強化に取り組むよう要望する。

2. 上総一ノ宮駅南側の踏切拡幅について、県とJRで協議を進めているとのことだが、改良整備の進展が見えず、引き続き県に要望されたい。



現場踏査 「中央ポンプ場除塵機整備改修工事」

厚生文教

委員長	藤井 幸恵
副委員長	袴田 忍
委員	小関 義明
委員	小関 博敏
委員	萩原 一男
委員	鶴沢 清永
委員	小林 正満
委員	大橋 照雄

一般会計

問 放課後児童健全育成事業の利用率が上がる。保護者・事業者・町でどのような協議をしたか。
答 保護者・支援員・事業者による運営委員会を開催し、協議した。20年間料金を改定していなかったが、近隣市町村と比較し低価格であったことから、長期休暇及び土曜日の価格統一を図り、見直す決定をした。

問 国民健康保険事業特別会計
 加入者が減る中で、来年度は基金を繰り入れる。税率の考えは。
答 国保の統一化を見据え、基金を活用し、税率は据え置く考えである。

介護保険特別会計

問 介護予防事業の果たす役割は大きい。回数を増やす等、多くの住民が参加できると良いと考える。事業を実施する中で、予算など制約はあるか。
答 予防事業は、保健センターや東浪見コミュニティセンター等で5種類の教室を実施している。会場確保が難しい場合もあるが、地区集会所でも活動しており、今後も、自宅近くで開催できる教室を更に検討していく。

問 委員会からの要望事項
 1. 学校支援事業について、各学校の特別支援教育支援員の増員を求める。
 2. 町内各学校の公平性を保つため、一宮小学校教職員の駐車場を確保することを求める。



現場踏査 「一宮小学校 学校支援事業」

国民健康保険事業特別会計（議案第16号）
反対 萩原博敏 議員
 国保加入世帯の可処分所得は、生活保護世帯より低い状況であり、一刻も早い改善が求められる。保険税を協会けんぽ並に下げることが必要である。保険税引き下げ実現のため、国・県への運動と一般会計・地方消費税交付金を活用した繰入れを求め、反対する。

反対 鶴沢一男 議員
 今後も被保険者が減少し、来年度以降も財源が足りないのは明らかである。税率を上げず、足りない分は財政調整基金を繰り入れるが、税の健全なあり方から考えると容認できない。また、財政調整基金は感染症の大流行など不測の事態の時に使うものである。さらに国保が県下統一化された後に、基金が集約されるのか等が見極められない今の段階で、安易に基金を活用すべきではない。町の国保の健全化を求め、反対する。

賛成 藤井幸恵 議員
 被保険者の減少等から、財政運営は大変厳しい状況である。物価上昇の中で、令和7年度は財政調整基金を取り崩し、保険税を据え置きとしている。また、生活習慣病の予防と早期発見を目的とした取組など、医療費の削減に努める予算となっている。本予算は適正なものと判断し、賛成する。

後期高齢者医療特別会計（議案第18号）
反対 萩原博敏 議員
 本会計は、年齢で困り込む制度の上、国費負担は一定の割合でしかない。さらに、年々医療費が増加傾向であり、保険料アップに影響している。町会計は、保険料を決定している県広域連合と一体と考えるべきである。県広域連合議会議員として見ると、この運営の仕方には様々な点から住民目線が感じられない。住民の声が届く制度になるよう改善を求め、反対する。

賛成 袴田忍 議員
 社会全体で高齢者の医療費を支え合うための制度である。千葉県後期高齢者医療広域連合への納付金や窓口業務に関する経費など健全な運営を維持するための予算であり、適正と判断し賛成する。

一般会計予算（議案第15号）
反対 萩原博敏 議員
 物価高騰が続く中で、本予算に求められるのは、町民救済予算である。第2子以降学校給食費無償化など一定の民意反映はあるが、不十分である。地方消費税交付金を活用した国保や介護保険会計への繰り出しを行い、税負担の軽減措置を図るべきである。更なる改善を求め、反対する。

反対 小林正満 議員
 GSSセンター裏山は、建設以来土砂崩れなどの事故はないが、令和2年に土砂災害特別警戒区域に指定され、来年度に裏山法面の勾配を緩くする工事が施行予定である。しかし、平らに掘削した場合には、広大な町有地ができ、様々な使い道ができる。この事業はいったん止めて良く考えるべきではないか。町民のために、無駄のないアイデアが出る事を求め、反対する。

賛成 小安博之 議員
 各種事業の実施には、国県補助金や基金の有効活用など、財源確保に向けた努力が伺える。また、子育て世帯への経済的支援を目的とした事業など、健やかな暮らしづくりの実現に向けた内容となっている。限られた財源の中、効果的に事業の拡充を図った予算であり、賛成する。

介護保険特別会計予算（議案第17号）
反対 萩原博敏 議員
 本会計は、介護事業者も利用者も状況悪化の深刻化が進んでいる。それぞれの問題解決には、国への制度改善要求、待機者を生まない施設建設計画、一般会計からの繰り入れで保険料を引き下げるなど更なる改善を求め、反対する。

賛成 藤井幸恵 議員
 高齢化率が増加する中で、保険給付費は第9期介護保険事業計画の推計値より抑制されている。これは、町が精力的に実施しているけんこう運動教室など高齢者福祉施策の効果である。高齢者が住み慣れた地域で健康に安心して暮らせることを目的とした適正な予算であり、賛成する。

議案番号	上程された議案・概要 (議案名は一部省略しています。)	議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	議長
		議決結果	篠瀬寛樹	宇佐美信幸	藤井幸恵	川城茂樹	大橋照雄	小林正満	鶴沢清永	鶴沢一男	小安博之	吉野繁徳	森佐衛	畑場博敏	袴田忍	小関義明
議案第14号	令和6年度農業集落排水事業会計補正予算(第4次) …収益的収支の収入を300万円を減額し1億6,133万2千円とし、支出を543万5千円追加し、1億5,218万7千円とする。 資本的収支の収入を971万2千円を追加し、2億3,666万3千円とし、支出を969万5千円を追加し、2億3,964万4千円とするもの。	可決	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	-
議案第15号	令和7年度一般会計予算議定 【※詳細はP2へ】	可決	○	○	○	○	×	×	欠	×	○	○	○	×	○	-
議案第16号	令和7年度国民健康保険事業特別会計予算議定	可決	○	○	○	○	○	×	欠	×	○	○	○	×	○	-
議案第17号	令和7年度介護保険特別会計予算議定	可決	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	×	○	-
議案第18号	令和7年度後期高齢者医療特別会計予算議定	可決	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	×	○	-
議案第19号	令和7年度農業集落排水事業会計予算議定	可決	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	-
議案第20号	令和6年度一般会計補正予算(第7次) …歳入歳出それぞれ155万1千円を追加し、予算総額を57億9,323万3千円とするもの。(一宮小学校の給食備品購入)	可決	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	-
同意案第1号	一宮町固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めること …酒井芳人氏の選任につき、議会の同意を求めるもの。	同意	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	-
発議案第1号	議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例 …議会議員の期末手当の支給率を0.1月引き上げ、年間4.5月を4.6月に見直すもの。	可決	○	○	○	○	×	○	欠	○	○	○	○	×	○	-
発議案第2号	一宮町議会の個人情報の保護に関する条例の一部を改正する条例 …関係法令が改正されたことに伴い、所要の規定の整備をするもの。	可決	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	-
発議案第3号	一宮町議会委員会条例の一部を改正する条例 …町の事務分掌条例が改正されたことに伴い、所要の規定を整備するもの。	可決	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	-

議長・議員が出席した主な行事(令和7年1月~3月)

1月		2月		3月	
6日	新春賀詞交歓会	2日	節分厄除大祭	4日	第1回定例議会(初日)
7日	第3回議会報編集委員会	4日	長生郡市広域市町村圏組合議会運営委員会 長生郡市広域市町村圏組合議会第1回定例会(初日)	5日	議会常任委員会
11日	第4支団表彰伝達式 長生郡市広域市町村圏組合消防出初式	7日	長生郡市広域市町村圏組合議会常任委員会	7日	第2回議会報編集委員会
12日	令和7年一宮町成人式~20歳の祝典~ 例月出納検査	9日	一宮町スポーツ協会アスリートオブザイヤー	11日	一宮中学校卒業式
20日	千葉県後期高齢者医療広域連合議会運営委員会 千葉県後期高齢者医療広域連合議会全員協議会	11日	長南町合併70周年記念式典 白子町70周年記念式典	13日	東浪見小学校卒業式
28日	長生郡町村議会議長会視察研修(28日~29日)	14日	生物文化多様性計画策定委員会	14日	一宮小学校卒業式
30日	千葉県後期高齢者医療広域連合議会第1回定例会	17日	長生郡市議員会第2回地区交流会	15日	一宮どろんこ保育園卒園式
31日	新年度予算主要事業議員説明会 長生郡市広域市町村圏組合議会 議員全体説明会	19日	一宮聖苑組合議会定例会	18日	議会常任委員会 第1回定例議会(最終日)
		20日	例月出納検査	19日	東浪見子ども園卒園式 長生郡市広域市町村圏組合 保健センター運営委員会
		21日	千葉県町村議会議長会定例会 九十九里地域水道企業団理事会	21日	例月出納検査
		25日	長生郡市広域市町村圏組合議会常任委員会 長生郡市広域市町村圏組合議会第1回定例会(最終日)	24日	長生郡市広域市町村圏組合議会運営委員会 長生郡市広域市町村圏組合議会第1回臨時会 愛光保育園卒園式
			議会運営委員会	25日	いちのみや保育所修了式 第3回議会報編集委員会
		28日	議会議員全体会議 第1回議会報編集委員会	27日	長生農業協同組合 第48回通常総代会

議案審議結果一覧

【賛成：○ 反対：× 欠席：欠 退席：退】
※議長は採決に加わりません。

議案番号	上程された議案・概要 (議案名は一部省略しています。)	議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	議長
		議決結果	篠瀬寛樹	宇佐美信幸	藤井幸恵	川城茂樹	大橋照雄	小林正満	鶴沢清永	鶴沢一男	小安博之	吉野繁徳	森佐衛	畑場博敏	袴田忍	小関義明
請願第1号	多発する迷惑行為に対する実効ある対策を求める請願 【※詳細はP8】	不採択	×	×	×	×	○	×	欠	×	×	×	×	×	×	-
議案第1号	一宮町犯罪被害者等支援条例 …誰もが犯罪の被害にあう可能性があるなかで、町民等が安心して暮らすことのできる地域社会の実現のために制定するもの。 【※詳細はP8】	可決	×	×	○	○	○	×	欠	×	×	○	○	○	○	-
議案第2号	刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例 …刑法等が改正され、懲役及び禁錮を廃止し拘禁刑が創設されたことに伴い、語句の改正を行うもの。	可決	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	-
議案第3号	一宮町一般職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例 …人事院勧告及び千葉県人事委員会勧告の給与改定に準じて、給料表を平均4.1%、期末勤勉手当の支給月数を年間0.1月引き上げるもの。また、地域手当及び扶養手当の見直しを踏まえ、所要の改正を行うもの。	可決	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	-
議案第4号	一宮町個人番号の利用等に関する条例及び一宮町税条例の一部を改正する条例 …関係法令が改正されたことに伴い、所要の規定の整備をするもの。	可決	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	-
議案第5号	一宮町事務分掌条例の一部を改正する条例 …役場組織を改編するため、企画広報課が企画課に名称が変わるもの。	可決	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	-
議案第6号 第7号	一宮町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例(第6号) 職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例(第7号) …育児・介護休業法の改正等を踏まえ、所定外労働の対象となる職員の範囲を小学校就学前の子まで拡大するとともに、介護休暇を取得しやすい勤務環境を整備するため、条例を改正するもの。	可決	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	-
議案第8号	一宮町の特別職に在る者の常勤の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例 …町長等の常勤特別職の期末手当の支給月数を0.1月引き上げ、年間で4.5月を4.6月に見直すもの。 【※詳細はP8】	可決	○	○	○	○	×	○	欠	○	○	○	○	×	○	-
議案第9号	町道路線の認定 …宅地開発事業に伴い寄附された開発道路を新たに認定するもの。	可決	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	-
議案第10号	令和6年度一般会計補正予算(第6次) …歳入歳出それぞれ2億2,098万2千円を追加し、予算総額を57億9,168万2千円とするもの。(低所得者世帯支援金給付事業5,275万3千円など)	可決	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	-
議案第11号	令和6年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第4次) …歳入歳出それぞれ1億366万4千円を減額し、予算総額を13億8,094万7千円とするもの。(各事業の決算見込による精算)	可決	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	-
議案第12号	令和6年度介護保険特別会計補正予算(第3次) …歳入歳出それぞれ107万3千円を追加し、予算総額を11億877万6千円とするもの。(各事業の決算見込による精算、介護給付費準備基金の積立)	可決	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	-
議案第13号	令和6年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第1次) …歳入歳出それぞれ221万2千円を追加し、予算総額を2億1,498万3千円とするもの。(各事業の決算見込による精算、広域連合納付金の増)	可決	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	-

ここが聞きたい 町の考えを問う 7人の議員が一般質問

一般質問は、町政全般に関する疑問や町の考えを問うものです。
※ここでは、質問と答弁を要約した内容で掲載しております。
詳細は、町のホームページから議会会議録（6月掲載予定）
または録画中継でご覧いただけます。

議会の様子（録画）を公開
しています。
各議員のQRコードを読み
取ると、一般質問の動画を
ご覧いただけます。

- 袴田忍 議員 P15**
①学童保育の支援体制は十分か
②不登校児童生徒の実態について
- 畑場博敏 議員 P14**
①平和行政に対する町長の政
治姿勢を伺う
②第2期まち・ひと・しごと
創生総合戦略の後半期にあ
たって3点を伺う
- 宇佐美信幸 議員 P13**
①サーフィン保護区申請に向
けた進め方について
②高齢者向け福祉タクシー運
賃助成について
③一宮小学校の駐車場所について
- 大橋照雄 議員 P12**
①「減災」が基本で安全・安心か
- 小林正満 議員 P11**
①GSSセンター裏山は有効利用を
- 藤井幸恵 議員 P9**
①世界サーフィン保護区について
- 篠瀬寛樹 議員 P10**
①ふるさと応援基金の使途について
②今後の民生委員について
③海岸周辺駐車場の運営について



藤井 幸恵 議員

保護区認定 住民協働で前進を 答 認定への理解を深め 住民協働で進んで行く



問 世界サーフィン保護区認定に向けての取組みは、町の総合戦略として最上位計画に位置付けられていながらなかなか実績を出せずにいたが、住民協働により大きく状況が動き出したように思う。

そこで以下の事を伺う。

① 進捗状況と今後のスケジュールは。

② 住民協働の難しさの一点に、「役割分担」と「責任の所在」があげられるが、その見解は。

企画広報課長

① 毎月1回有志の皆さんとミーティングをし、意見交換や情報交換を行いながら、住民参加型の講演会やグループディスカッション等を開催した。町民のシビックプライド醸成を図ることが重要と考え、引き続き関連イベントを開催する。今後は多くの組織や個人、団体等から推薦状を獲得し、申請はできるだけ早い時期にしたいと考えている。



定例会で決まったこと

令和7年第1回一宮町定例議会は、3月4日から18日までの15日間の会期で開催されました。町長の施政方針をはじめ、一般質問は7名の議員が行いました。また、議案は条例の制定のほか、7年度予算、発議案などがあり、原案どおり可決しました。

ここでは討論のあった議案等を紹介します。

特別職の期末手当を引き上げ（議案第8号）
一般職の給与改定に準じて、町長等の常勤特別職の期末手当の支給月数を0.1月引き上げ、年間で4.5月を4.6月に見直しました。

反対 畑場博敏 議員
特別職には責任の重さが当然あり、多く手当を支給することは当たり前という考えもある。しかし、住民の暮らしが苦しい中で、据え置いて姿勢を示すことも大事だと考え反対する。

賛成 袴田忍 議員
特別職の期末手当等は一般職に準じて改正している。特別職は行政の最終責任者であり、重責を負う立場でもある。また、各種行事等、多忙な身分であることから今回の改正はこれに見合うものと判断する。

討論とは・・・
議会の会議において、議題に対して賛成か反対か、自らの意見を表明し、その理由等を述べること。
討論が終結すると、議案等の賛否を決定する採決となるため、討論は意見の違う議員を自らの意見に同調させるための最終的な機会となります。



犯罪被害者等支援条例を整備（議案第1号）
誰もが犯罪の被害にあう可能性があるなかで、町民等が安心して暮らすことのできる地域社会の実現のために制定しました。
傷害、殺人の犯罪被害者に対して、見舞金や転居費用の助成を行います。

反対 鶴沢一男 議員
本議案は、末端自治体が行う施策ではない。国の制度がある以上、重ねて支援策を設ける必要はないと考え、反対する。

多発する迷惑行為に対する実効ある対策を求める請願（請願第1号） 紹介議員 大橋照雄
紹介議員を介して、迷惑行為に対する請願が提出されました。趣旨等の詳細は、下記のQRコードでご覧いただけます。



反対 篠瀬寛樹 議員
質疑では法律にそった明確な回答がなかった。また、迷惑防止条例は実効力がなく、基本的人権を守る条例ではないとの解釈は受け入れられない。しかし、困っている町民を助けたいという思いは同じであり、本条例がより住民生活向上の一助となるよう町執行部、議会が連携し取り組んでいく事を要望する。

反対 畑場博敏議員
質問した中で明確な回答がなかったこと、どの法律に基づいて規制するか主張があいまいであることから、請願を採択するまでの理解に達していない。主張を整理して理解が得られるように再度提出をお願いしたい。



小林 正満 議員

GSSセンター裏山は有効利用を

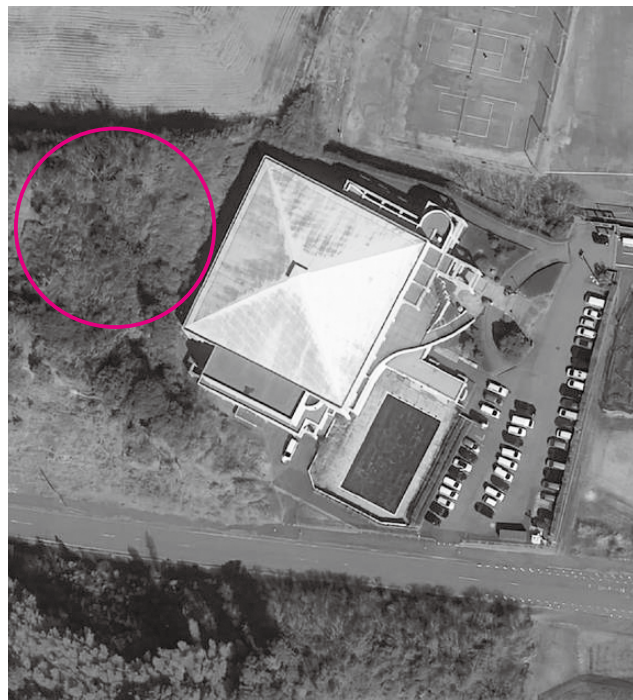
答 土砂災害のリスク排除を優先



山を掘削すると残土が多く出て、多額の費用がかかるため、平らにできないのではなく、出た残土を副産物として、避難山など有効に利用してはどうか。町長の見解を伺う。

町長は、思い切った崖取り、この町有地を有効に使う考えはないか。平らにした場合、面積約6千㎡の土地ができる。これだけの町有地があれば、GSSセンターの駐車場不足も解消でき、ドクターヘリの発着所、給食センター、中央公民館、一宮中学校の第2グラウンドとしての利用も考えられる。

町長は、GSSセンター裏山は、危険性があつたにも関わらず、長年放置していた。しかし、令和7年度この裏山の崖を掘削し、勾配をゆるくする工事が施行予定と聞く。工事の総額は、1億5千万。裏山から出る掘削残土は、行き場がないため、一時的に仮置きをするが、行き場や活用方法が決まるまで、置き場の費用を支払うのか。



GSSセンター裏山 航空写真

町長は、令和2年3月31日に土砂災害特別警戒区域に指定されたこと、また昨今の雨や台風の激甚化を受けて、何らかの対策が必要となり、令和5年度に緊急自然災害防止対策事業債を利用して、調査、測量を実施した。その結果に基づき、今年度は設計に着手し、来年度には掘削し勾配を緩やかにすることで、土砂災害のリスクを無くす方法での対策工事を予定している。この工事で1番問題となるのが残土

処理である。今回予定している工事でさえ、約2万㎡の残土が発生する。残土の処分には、巨額の費用がかかるため、今回は隣地の土地所有者の方のご厚意で、仮置きをさせていただくこととなった。また、現時点で残土を使用する公共事業や、避難山の築造もない。今後、残土を有効に活用できる大型公共工事等の進捗を見ながら、処理方法、時機を関係機関と協議し検討していく。

議会中継を
ご覧ください

次回の定例議会は6月17日(火)
午前9時からの予定です。

※傍聴も可能です。



録画中継



篠瀬 寛樹 議員

ふるさと応援基金の用途は

答 基金は必要な事業に有効活用



ふるさと応援基金の用途は6つの事業に分かれており、その中で2事業について、以下の点を伺う。
① 「サーフオノミクス推進事業」の残高約2億5千万円は、「釣ヶ崎海岸付近への避難施設等の整備へ充てる」との事だが、計画開始から4年以上経過している。スケジュールや事業内容も決まっていない。明確な用途等を伺う。
② 「その他町長が必要と認める事業」の残高約2億円は、「公共施設整備事業資金へ充てる」との事だがインフレや建設費の高騰により、時間が経つほど金額内でできることは減っていく。早めの決断・実行が必要だと考えるが、見解を伺う。

総務課長

① 釣ヶ崎海岸付近の避難施設等整備を見据えた上で、今後も必要な事業に基金を活用していく。
② 今後の公共施設整備事業をメインに活用していく考えである。また、体育館



等へのエアコン整備などの事業にも柔軟に対応するため、用途については十分に検討し、活用する。

海岸有料駐車場収入による一体的な整備を

魅力ある海岸に向けて検討する

問 海岸周辺駐車場の運営について、以下の点を伺う。
① 検証結果を見て、料金値上げ期間を延長しても良いと考えるが、見解を伺う。
② 魅力ある海岸づくり基金は、海岸整備に要する経費にしか充てることができない。今後、基金条例を改正し、海岸広場や臨海運動公園を含めた一体的な整備を進めるべきと考えるが、見解を伺う。

産業観光課長

① 今年度は変動料金制導入1年目である。引き続きデータ収集し、利用状況の変化や利用実績等を見極めつつ、使用料変更期間について、検討する。
② まずは整備途上の海岸



※こんな質問もありました
・空き家実態調査と固定資産税の今後について

整備に基金を活用する。海岸整備が完了した際には、海岸部一体としての整備等について検討する。

民生委員の業務改善を

職務負担軽減に向けた業務の見直しや削減を進める

問 民生委員の必要性や、どのような組織にしていきたいかを再考し、職務負担軽減のための業務改善が今必要だと考える。
本年12月の一斉改選に向けて、後任探しに苦慮している現職の方と現状と今後について良く話し合っていたきたい。一斉改選までの期間は、改善の一番の機会だと考えるが、見解を伺う。

福祉健康課長 職務軽減に向け、必要に応じて社会福祉協議会を交えて、現民生委員の方々と個々に協議していく。今までにとらわれない、職務負担軽減に向けた業務の見直しや削減を進めていく。



宇佐美 信幸 議員



認定に向けた視察と イメージ共有を まずはオンライン会議 にて情報把握する

企画広報課長 有志メンバーと共に、申請に必要な住民参加型講演会を展開中。また、認定を決定するNGO団体とはメールで申請に関するやり取りを進めている。今後、オンライン会議を通じて同規模地域の担当者を紹介いただき、認定の効果や必要予算、デメリットなどの実情を把握する。そのうえで、現地視察が必要と判断されれば実施を検討する。

問 サーフイン保護区の申請難易度や認定の効果・制約についてイメージを持つため、同規模の既認定地域を視察し、現地担当者へのヒアリングを通じて具体的な効果や予算、さらにはデメリット等も把握すべきと考えます。その情報を町民と共有し、町全体で認定後のイメージを持つための段階へ進むべきだ。現地訪問が難しい場合は、オンライン会議の実施も検討すべきであるが、見解を伺う。



問 高齢者向け福祉タクシーの運賃助成は、80歳以上の免許自主返納者を対象に年間上限2万4千円としているが、長生郡内で最も助成規模が小さい。新にこにこサービスは利便性に課題があり、バス運行も限定的なため、当助成の需要は高いと考える。よって、抜本

問 一宮小学校の保護者参加行事では、土日は役場の駐車場が利用できるが、平日は駐車場の確保が難しく、特に遠方の保護者にとって大きな課題となっている。町として現状を把握し、適切な対策を講じる必要があると思うが、見解を伺う。

問 高齢者向け福祉タクシーの利便性向上に向けて総合的に検討の見直しが必要と考えるが、見解を伺う。
福祉健康課長 今年4月から対象を80歳以上で自動車運転免許証のない方にも拡大する。今後も高齢者が住み慣れた町で健康で充実した生活を送れるよう、福祉タク



シー事業の対象年齢や助成額の見直し、新にこにこサービスの拡充など利便性向上に向け、総合的に検討をする。



大橋 照雄 議員



減災が基本で安全安心か 避難所の改善に努める

問 町民が安心の防災対策を求め、次の点を伺う。
① 10mの津波で町民が何人一時避難をし、各避難場所に何人避難する計画か。
② 町には独自のタワーや築山がないが、その訳は。
③ 町の指定避難所は災害特別指定区域や津波被災区域にあつたり、空調設備が整っておらず、2次災害が想定される。避難所も考慮した公共施設建設の計画を急がなくては良いのか。
④ 避難所での女性や幼児、身障者など弱者への具体的な対応策は。
⑤ 避難所でテント活用自治体がある。フェーズフリーな対策で町民が用意をすることも考えられる。キャンプ等を取り入れた防災訓練等の考えはないか伺う。

総務課長
① 津波発生時は、安全な高台等へ速やかに避難し、身の安全の確保をしていた。その後、自宅に戻れない方などが避難所に来ることになる。町の避難所は3千名弱の収容が可能と考えている。避難場所は、各個人で判断し、最善をつくしていただくので、どこに何人という計画はない。



※自動ラップ式トイレ 水を使わず、臭い漏れなく、排出物を密封するトイレ

② 現在の指定緊急避難場所の配置状況や様々な環境を考え、建設に至っていない。
③ GSSセンターは、裏山の掘削で土砂災害特別警戒区域の解除を目指している。また、自動ラップ式トイレ等の用意を進めており、空調設備の整備も検討している。公共施設建設計画が進むまでは、既存の施設等で対応する。
④ 今年度、液体ミルクやおむつを準備した。国の交付金を活用し簡易ベッドやトイレの整備も計画している。

⑤ 避難所内で使用するテントの購入は計画している。キャンプを取り入れた防災訓練等は計画していない。
⑥ 国の新たな交付金制度の活用を計画している。
⑦ 防災室は検討していない。防災士の有資格者は1名いる。防災係には、女性はいないが、災害時には役場全体で対応する。
⑧ GSSセンターに拠点を移すなど、状況に応じ対応する。
※こんな質問もありました
・ 物価対策でゴミ袋無償配布を求む
・ 町の財政状況は
・ 町民を守る町政を求む
・ 一宮町の魅力発表会とは
・ 公民館建設関連委託事業について



袴田 忍 議員

学童保育の支援体制は十分か

答 委託業者と十分な情報共有



問 学童保育は民間業者に委託され、9ヶ月が経過した。年々利用者が増加しているが、町の支援体制は十分か伺う。

答 町は支援指導内容を十分把握しているか。

① 子ども達の「生活・遊びの場」は現状の状況で適切か。

② 職員の数には足りているか。

子育て支援課長

① 他町村でも実績のある業者に委託しており、マニュアルを基に運営している。また、現場に総括管理責任者を配置し、町との情報共有を図っている。保育内容は、季節のイベント、体験教室等も実施している。

② 教室の広さは、厚生労働省の基準を上回っている。使用可能な場合は、体育館や運動場等も使用している。

③ 子どもの個人差へも配慮し、一宮と東浪見ともに基準を上回る職員配置をしている。



総合戦略進捗と達成見通しは

答 改善方向を検討

問 第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略が折り返し地点を過ぎ、後半2年になった。3点を伺う。

① 都市計画道路の見直し計画されているが、2年で出来るのか。進捗を伺う。

② 町の力の源として農業の振興を掲げているが、振興策の理念と具体策を伺う。

③ 本格的な高齢化社会を迎える中で、高齢者の移動手段確保の課題があるが、郡内各町村の取り組みと当町の特徴、改善方向を伺う。



都市環境課長

① 現在、町の見直し方針を県と協議中であり、今後、立地適正化計画などの新たな要件を踏まえ、見直し業務を進めていく。



産業観光課長

② 現在、生産性の向上を目的とし、農地の集積・集約化を柱とした地域計画を策定している。また、次世代担い手確保のため、長生農業独立支援センターの活用や町の移住定住施策などの情報発信に努めている。更に、国の交付金制度なども活用しながら、有機農業の普及にも取り組んでいく。



福祉健康課長

③ 各町村とも独自の外出支援サービスに取り組んでいる。当町では、65歳以上の方を町内全域に移送する新にこにこサービスに加え、福祉タクシー事業では新年度から80歳以上で自動車運転免許証のない方にも対象を広げる。今後も高齢者の外出支援サービスの利便性向上に向け、総合的な検討を進めていく。

不登校児童・生徒への支援は

答 支援策を継続的に実施

問 全国的に見て、年々増えている不登校であるが、我が町はどのような状況か。また、不登校の児童・生徒への支援はどのようにしているか伺う。

教育課長 令和7年1月時点で33人。前年度に比べ4人減少している。児童数に対する割合は東浪見小学校1・36%、一宮小学校1・85%、一宮中学校6・04%となっており、各校とも令和5年度の全国平均と比較してほぼ同じ水準となっている。

支援策は、教職員の家庭訪問や電話連絡、生徒指導部会での対応策検討、適応指導教室の設置、カウンセラーとの教育相談、タブレットによるオンラインでの対話があり、継続的に実施している。さらに、新たな取り組みとして、関係機関と連携したケース会議の実施、町内外の適応指導教室やフリースクールとの連携、中学生を対象とした県のオンライン授業配信を活用した学習機会の確保などがある。

ご存知ですか

議会は年4回（3月・6月・9月・12月）開催される定例会と、急を要する特定の案件を審議するための臨時会があります。

開催日は、議会だよりに次回定例会の予定をお知らせしているほか、町ホームページや議会開催日の3日前から、防災行政無線でもお知らせをしています。

議会開催中は、どなたでも議会を傍聴することができます。また、インターネットで、議会のライブ中継もご覧いただけます。

表彰

3月4日の議会定例会にて、一宮小学校5年石田海夏さんいしだ みなつの功績を称え、一宮町議会表彰を行いました。



いしだ みなつ 石田 海夏さん ・ 小関議長

石田さんは、第58回全日本サーフィン選手権大会SWキッズ部門で優勝と、大変優秀な成績をおさめ、当町のスポーツ振興に大きな貢献をされました。さらなる活躍を期待しています。

これからの二宮・これからの私



やまぐち しげき 山口 茂樹さん

私は、2023年に市川市から一宮町に移住してまいりました。近くにサーフィンで有名な海岸がある一方で、内陸には畑が広がる町での新生活。

移住当初、期待と不安が入り混じっていました。優しい地域の皆さんに受け入れていただき、その不安もすぐに解消することができました。

「梨で農業を始めたい」という思いから農地を探している中で、一宮町の名産である「ながいき梨」を知り、長生独立支援センターへの相談を経て、移住を決意。

研修先となる農家さんを紹介していただき、1年間研修をさせていただきました。農業を始めるための畑も何とか決まり、今年から梨の生産・経営を始める予定です。

初めての農作業、初めての経

営、さらに昨年には第一子も生まれ、初めてだらけで慌ただしく、忙しい毎日ですが、その分、新しい発見や経験が多く、毎日新鮮に感じています。

今後は梨の生産・経営規模の拡大を目標とし、新規で農業を始めたい方々が一宮町に移住する際のモデルケースとなることで、産地維持を含め地域貢献ができるような人物になりたいと考えています。



梨の花(※4月頃に咲き、春の訪れを告げる樹木の一つです。)

編集後記

袴田忍記

春本番を迎え、活動するには絶好の季節となりました。

さて、一宮町議会ですが、3月議会は次年度の予算を決定する大切な議会でもあります。町当局から提出された各課の予算書を細かくチェックし、町民目線で納得いく予算計上をして頂きました。予算の概要は公共施設の改修、防災対策、子育て支援、教育の充実、社会保障関係費の増加が主因となつて、予算規模は過去最大の一般会計予算60億5千万円を可決し閉会しました。

議会広報誌は慎重審議される議会内容の報告を町民の皆様に関わりやすい、読みやすい項目で伝えていかなければならないと考えます。

広報委員一同、地域に密着した広報活動にまい進して参ります。今後とも宜しくお願い致します。



発行：一宮町議会
編集：議会報編集委員会
発行日：2025年4月16日
〒299-4396
千葉県長生郡一宮町一宮2457
電話 0475(42)1421(直)